

通所支援計画書

児童氏名		生年月日		説明者： 児童発達支援管理責任者	
通所給付決定保護者		所 属		本人同意署名欄	
計画作成日		説明・確認日		通所給付決定保護者同意署名欄	

主 訴	独言を減らしたいです。声量が気になります。思春期の問題が気になります。
総合的な援助の方針	場面に応じた行動が出来るよう、自己コントロールに向けた支援を行います。
長期目標	思春期による行動化をコントロールできるようになりましょう（例：テンションや、他児への接触など）
短期目標	時間の意識を持ちながら、活動に参加することが出来るようになります（例：終わり会の前のお片付け、時間を気にすることが出来るようになる。）

優先順位	発達課題 (～が必要)	援助目標	達成時期	支援の種類・内容・量等	本児の長所・保護者の役割	評価時期	その他留意事項
1	引き続き情緒を養い、言動共に豊かな表出が出来るようになる。	様々なことに挑戦し、経験値を高めることで、出来る事が増え、褒められながら情緒、感性を伸ばします。	6ヶ月	様々な活動を通し、喜怒哀楽と結びつける活動や、本児の好きなことを他者の反応・評価を通してコミュニケーションに慣れスキルをあげます。	切り替えがよく、何事にも取り組む事が出来ます。	6ヶ月	※感覚遊びも取り入れながら、身体的な満足も得られるよう活動を工夫します。
2	独言が多く、テンションが高くなると大きな声が出ます。独言もあります。	場面によって声を出して良い時、小さい声で出すときなどを意識できるよう支援します。	6ヶ月	活動によってその声量の良し悪しをコントロールするとともに、余暇時間等には声かけや視覚支援を用いて、自分から行動を変えることが出来るよう支援します。	注意を受けるとしばらく落ち着くことが出来ます。	6ヶ月	最終的にはコントロールできるよう支援します。テンションが上がるとときには、背中をさするなどすることで落ち着くことが出来ます。
3	思春期もあり、人との距離感や、急な感情の起伏があるようです。体の変化からのソワソワ	静と動の活動を取り入れ、体のコントロールができるよう目指します。	6ヶ月	コミュニケーションサーキットや、体幹トレーニングだけでなく、SARTを取り入れ、粗大運動から微細運動にかけて体のコントロールを図ります。	体の動きに視線や注意集中を向けることはとても上手です。	6ヶ月	食に関して：酸味に対して苦手さがありません。おやつでより楽しく食べられるよう食育も同時に行います。
4	落ち着かない状態もあるかもしれません。	直接的な他児への接触到代わる満足を得られるものを見つけます。また、穏やかに過ごせる時間を増やします。	6ヶ月	適切な距離感を言語や視覚的に伝えつつ、身体的な満足が得られるような感覚遊びを取り入れていきます。急な感情の起伏には、個別対応で落ち着けるよう支援します。	人懐っこさから、周りのお友達にも気に入られます。	6ヶ月	男の子に接触が多いようです（相手の肩に頭を乗せたり等）。
5	お片付けの時間になっても、お絵かきなど長引いてしまう事があります。	自分で行動を移せるよう支援します。	6ヶ月	スケジュールやタイマーなどを用い、見通しをもった行動をすることで、自立できるよう支援します。しかし、タイマーが鳴ってもなかなか行動に移せない時があるので、随時声掛け等も行いながら、行動を移せるよう支援します。	自分の好きなこと、したいことに関しては行動に移すことが早いです。	6ヶ月	必要に応じては、スタッフがその場所に手や体を押しながら誘導することがあります。
6	公共交通機関を使つての行き来が難しいようです。	まずは安心して通えるよう、叶の送迎を活用します。	6ヶ月	学校から叶、又は自宅まで送迎を行います。営業時間の前後で延長をする場合も、その都度話し合い受け入れを行っていきます。		6ヶ月	必要に応じて、月利用日数を増やしたりと、突発的な利用にも対応いたします。